

A
02
3
005-13

沖縄専門委員高岡大輔氏
の訪沖に関する書類
1968.7.2. ~ 1968.7.21

高岡大輔氏の訪沖に
関する書類

1968.7.2 - 7.21

渉外課

判定済

[沖縄県公文書館]



R00000591B

沖縄専門委員高岡大輔氏の

謹啓 盛夏の候貴殿にはますますご健勝のこととお慶び申しあげます。

さて、早速ですが、先日当局渉外広報部渉外課渉外係長饒平名知宏がお電話にて一応のご同意をいただきました沖繩問題等懇談会（座長大浜信泉）専門委員高岡大輔氏による貴殿所有の尖閣列島調査（水深及び海底地質等調査）につきましては、別紙日程により実施することになりました。

このたびの高岡氏の調査に際しましては、琉球政府としても全面的にご協力申し上げることになりましたので、水産研究所の凶南丸を借用し、琉球大学教授ならびに政府気象専門家などを同行させることになりました。

ついては、誠に恐縮とは存じますが、諸準備の都合上、次の事項について貴殿の文書によりますご同意を得たいので、早目にご回報くださるようお願い申し上げます。

最後に貴殿の今後ますますご発展あらんことを祈念いたします。

- 1 貴殿所有の尖閣列島島嶼への立入調査および土壌の持出しの件
- 2 貴殿所有の上記島嶼周辺での水深および海底地質等の調査の件

敬具

琉球 第72号

1968年7月1日

1968年7月1日

琉球 第72号

琉球政府

総務局長 仲本昌達

[Redacted]

の調査の派遣について(依頼)

殿

おたしについて、沖縄同協等協議会専門委員高岡大樹氏が沖縄事
務調査のため、最近日領のとなり来島するとの通報が日政沖縄事務
所を通してありました。

高岡先生は現在中、この調査では法人が通とも思われる突進列
島の水深ならびに海底地質調査等を行ないたいので、その際におき
て琉球政府関係職員との協力について、特に配慮方を要請しています。

当局としては、政府関係職員を琉球大学、琉球気象庁および工業
院から依頼したい所存ではありますが、政府関係職員の出発について、
何分の配慮をくださるようお願いいたします。もし同意いただけるとし
ても、今回の協力要請が突然のことであり、当局には何等の予算上
の措置も感じられてなく、従いまして必要な調査費を毎月負担という
ことになりますが、先生の調査を可能な限りおこなうという態度に立
つて全額的な賛成が得られるよう貴院の賛成の意思を要請します。

なお、同意いただける場合におきましては、調査委員の姓、氏名
について、来る7月3日までに必要とするように文書にて回答く
ださい。

琉球政府